

学校だより

よう

よう



遙 遙



目指す生徒の姿『未来を切り拓く生徒』 教育目標『自律 貢献 創造』

新潟市立新潟柳都中学校
令和8年10月16日発行
TEL 025-228-6547
FAX 025-228-0985
E-mail
j305niigataryuto@city-niigata.ed.jp

後期がスタートしました！

10月9日は、前期の終業式、13日には、後期の始業式が行われました。

校長の講話では、前期を振り返り「全校生徒一人一人がしもマルシェや体育祭、日常生活の中で本気になる姿を見ることができてよかった。」という生徒を称賛するメッセージと後期に向け、一人一人がより一層成長し、活躍してほしいという期待を込めて、「成功の循環モデル」についての話がありました。右図の4つの質の中でも、関係性をよくすることがまずは重要であり、よいサイクルにつながっていきます。人と人との関係を大切に、各々の質を高めていきましょう。(関係の質の例: あいさつ⇒互いを思いやる気持ちや行動)

始業式の講話では、全校生徒に「6つの丸を書き、その半部分を黒く塗ってください」という指示があり、その結果から、○の書き方も色の塗り方も一人一人みんな違うのだということを伝えました。自分と違うことを非難したり、排除したりするのではなく、「互いの個性を尊重し、支え合い、みんなで違いを認め合える、全員参加型の学校」をみんなで創っていこう。というメッセージを生徒は真剣な表情で聞いていました。

始業式では、各学年の代表生徒による決意が述べられました。

学習面や生活面、体育祭について前期の具体的な行動を振り返るとともに、後期の改善点を述べました。

さて、後期はまず、10月23日(金)に合唱祭が行われます。当日に向けて各学年とも、放課後の合唱練習が始まりました。合唱祭当日、美しいハーモニーを体育館に響き渡らせてくれることを期待しています。

保護者・地域の皆様、当日は学校にお越しいただき、生徒の心を込めた合唱をご鑑賞いただけたら幸いです。



【成功の循環モデル】



●図1 成功の循環 MIT組織学習センター協働創始者ダニエル・キム

『前期の振り返りと後期への抱負』

1年 代表生徒

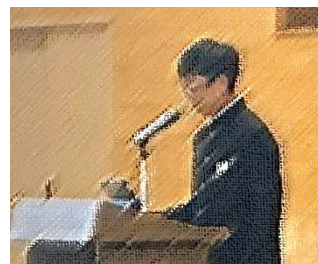
僕が前期で頑張ったことは三つあります。

一つ目は委員会活動です。僕は一学年委員会に入っていて一学年委員長として活動しました。4人という少ない人数でしたが学年朝会の運営や体育祭の学年種目の計画をやり切ることができました。体育祭の学年種目は初めての体育祭ということもあり、わからないことや多少ハプニングはあったけれど先生・生徒たちの助けのおかげで、無事に終えることができました。日々の委員会活動などでも色々な人の支えなしではここまでやり切れませんでした。前期の委員会を通して僕は仲間と協力し、目標に向かって努力することの大切さを学びました。後期では前期に学んだことを活かしてさらに前期の委員会活動で足りなかった部分を反省して後期の委員会で直していきたいです。

二つ目は部活動です。僕は前期、野球部として活動していました。入ったばかりの時は周りに上手な人がたくさんいて不安だったけれど仲間と一緒に努力していくことで不安は無くなっていきました。先輩たちからは色々な技術・礼儀などを教えてもらい、上達することができました。今は頼りになる3年生たちが引退してしまい寂しい気持ちがありますが、新チームとして今まで3年生が抜けた分を埋められるように日々の練習から意識を変え、限られた時間の中で、より上達できるように工夫していきたいです。

三つ目は勉強です。小学生から中学生になったことでテストの形式が変わったり、一科目ごとにワークがあるなど初めてのことが多かったです。特にテストの形式が小学校の時には一単元ごとにテストがあったけれど中学校は何単元かをまとめたテストなので勉強量も増えて大変でした。最初はワークのページ数も多く何からやっていいかわからなかったけれどある程度勉強をすることで自分の得意・不得意やどの教科・単元をしつらいかがわかるようになっていきました。第一回目のテストは初めてだったこともあり、勉強を始める時期が遅く自分の納得する結果は得られなかったけれど、第二回定期テストまであと1ヶ月を切っているので次は計画をしっかりと立て、自分の納得のいく結果が得られるように努力したいです。

前期は体育祭や初めての定期テストで、初めてのことが多くわからないこともたくさんあったけれどたくさんの経験をすることができました。後期には合唱祭や生徒会選挙などがあるので前期で経験したことを活かしていきたいです。



2年 代表生徒

私が前期に頑張ったことは、体育祭の競技係としてのリレーの走順決めや、学年委員としての綱引きの運営です。

競技係では、クラスみんなが力を発揮できるように、リレーの走順を考えました。一人一人の走る順番を決めることは難しく、どのような順番にすればクラスの力を最大限に発揮できるのかを考えながら決めました。また、自分たちだけで決めるのではなく、周りの人の意見も聞き、みんなが納得できるようにすることを意識しました。この経験を通して、自分の考えだけで物事を進めるのではなく、周りの人と協力しながら決めることの大切さを学びました。

学年委員としては、体育祭の綱引きの運営に力を入れました。みんなが安全に、そしてスムーズに競技を進められるようにすることを意識しました。運営をする立場になると、自分が競技に参加するだけのときとは違い、全体の動きを考えたり、周りの人と協力したりする必要がありました。大変なこともありましたが、みんなが協力して競技に取り組む姿を見て、頑張って良かったと思いました。また、責任を持って自分の役割を果たすことの大切さも学ぶことができました。

後期に頑張りたいことは、授業や委員会活動などでも、自分から進んで行動できるようになることです。また、周りの人の意見をしっかり聞き、自分の意見も伝えながら、みんなで協力して物事を進められるようにしたいです。何事も最後まで責任を持って取り組むことを心がけたいです。そして、クラスや学年のみんなが気持ちよく学校生活を送れるように、自分自身も成長していきたいです。



3年 代表生徒

みなさんが前期特に力を入れて取り組んだことはなんですか？

私が前期最も力を入れて取り組んだことは、体育祭です。体育祭では、競技や応援で良い結果を残すことだけを考え、軍全体が1つの目標に向かって切磋琢磨していくことが何よりも大切だと考えました。練習が始まったばかりのときは、仲間との意見がすれ違ったり、軍の中でも体育祭に対する気持ちや取り組み方に違ったり、なかなか軍全体が1つの目標に向かって進むことができませんでした。そこで私は、仲間との話し合いを重ね、少しでも雰囲気をよくできるように多くの人とコミュニケーションを取るように心がけました。また、自分の考えをただ伝えるだけでなく、周りの人の意見にも耳を傾けるように意識しました。その中で特に感じたことは集団で何かを成し遂げることや全員が同じ目標に向かうには一人ひとりの努力だけでなく、仲間と支え合うことが大切だと感じました。自分が頑張るだけではなく、誰かが頑張っているときは声をかけたりうまいかなときは励ます。そうした小さな積み重ねが団結力などに繋がっていくことを実感しました。本番では、練習の時以上に緊張しましたが、これまで一緒に練習してきた仲間を思いだし最後まで諦めずに取り組むことができました。結果にこだわらず、みんなで声を掛け合い、1つの目標に向かって努力できたことが大きな達成感でもあり体育祭成功のカギになったと思います。

体育祭を通して、私は「協力する」ということは、ただ同じことをするのではなく、それぞれが自分にできることは何かを常に自分自身に問い、考えて行動することなのだ」と改めて学びました。また、誰かのために行動することは結果的に自分の成長にもつながるということにも気づかされました。

後期ではこの経験から学んだことを生かして合唱祭にも力を入れます。合唱祭も体育祭と同じで行事に意欲的な人だけが頑張れば良いのではなく、一人ひとりが自分の役割を果たし、学年全体や全校で1つの歌をつくり上げることが大切だと思います。練習の中で意見が合わなかったり、思うようにいかなかったりしても相手の意見を尊重しながら行動できるようにしたいです。そして、合唱祭を終えて「この学年で歌えてよかった」「全校で歌えてよかった」と思えるような合唱にできるよう全力を尽くしたいです。また、行事だけでなく普段の学校生活でも基本的な部分を怠らないことや、プラスαで人を元気付けられるような言動を増やしていきたいです。

前期の体育祭で得た経験を1つの思い出として終わらせるのではなく、後期の合唱祭や日々の学校生活に繋がていきたいです。そして、前期よりもさらに成長した自分になれるように、何事にも責任を持って、最後まで努力していきたいと思います。みなさん、後期も文武両道、全力を尽くして頑張りました。



〈今後の予定〉

- 10月23日(金) 合唱祭 AM(給食後13:30頃下校)
- 28日(水) 定期テスト前部活動停止期間~11/3
- 11月 2日(月)、4日(水) 第2回定期テスト
- 20日(金) 5・6限 進路説明会(3年生・保護者)
- 26日(木) 5・6限 いじめ0集会
- 12月 7日(月)~10日(木) 後期保護者面談(3年生は3者面談)
- 23日(水) 後期前半授業終了日
- 24日(木)~1月6日(水) 冬休み

